

姫路医療センターを受診し、肺炎と診断された患者さんへ

「成人市中発症肺炎(COP)における肺炎球菌性肺炎の疫学研究」のご案内

このたび、姫路医療センター呼吸器内科では長崎大学熱帯医学研究所、京都大学医学部附属病院呼吸器内科と共同で、標記の研究を行います。以下に概要をお示ししますので、お問い合わせ、参加拒否のご意向がありましたら、下記の連絡先までご連絡をお願いします。

～研究概要～

背景と目的：肺炎球菌は、最も頻度の高い肺炎の原因菌です。65歳以上の高齢者には、この肺炎球菌に対するワクチンが定期接種となっています。肺炎球菌には90種類以上の型があり、現在の定期接種ワクチンはその中で23種類を予防するものです。また、肺炎球菌に対して本来効くはずの抗菌薬（例えばペニシリンなど）が効かないという薬剤耐性の問題が起こっています。肺炎球菌の型と薬剤耐性の関係や、これらの広がりの様子については、まだよくわかっていません。そこで、この研究では、患者さんの喀痰や血液の検査で出てきた肺炎球菌を用いて、これらの問題について研究することを目的とします。

研究対象者：2019年1月から2020年12月の期間に肺炎球菌による肺炎と診断された15歳以上の患者さん

研究に用いることがら：検査で検出された肺炎球菌（菌株）と、患者さんの臨床データを用いて研究します。これらは長崎大学熱帯医学研究所と京都大学へ提出され、データは研究期間終了（平成35年3月を予定）の後5年間保管し廃棄されます。患者さんのお名前などの個人情報には使いません。

患者さんにとって、この研究にご協力いただくことで利益も不利益もありません。また、ご参加を拒否されても何ら不利益はありませんし、ご参加いただくことに対する謝礼も発生しません。

本研究の資金源、利益相反：長崎大学へのみファイザー製薬からの寄付金がありますが、当院研究責任者には本研究について利益相反はありません。

この研究は、姫路医療センターの倫理委員会ならびに、長崎大学と京都大学の医の倫理委員会で審査され、承認を受けたものです。

～連絡先～

姫路医療センター呼吸器内科 中原保治

電話：079-225-3211